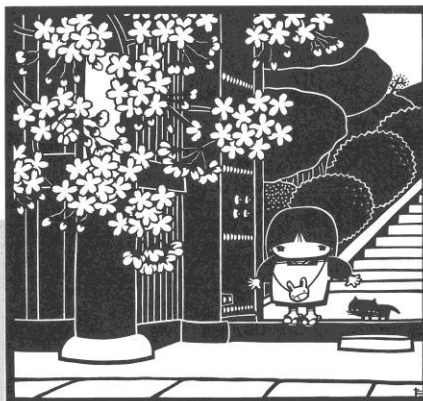




故郷の空 No. 25

ロンドン滞在中、住んでいたアパートの庭に一本の大きな桜の木があった。最初は花が咲くのかどうか疑っていたが、冬の終わり頃、徐々にふくらみはじめた蕾は五月に入って見事満開になった。まさかロンドンで桜が間近に見られるとは思っていなかったのだ、窓からその花を眺めるのがうれしい日課となった。

現地で知り合った日本人たちにそのことを話すと、みんなぜひ見たいという。そして彼らの訪問があるたび、決まってこの桜の花の下で並んで記念撮影をした。そのあと、「何だか桜の花の下でこうして並んで写真を撮るのは、小学校の時の遠足以来だ」とか、「学生の頃、堤の桜並木の下でデートした」とか、それぞれの桜にまつわる思い出話で盛り上がったのである。そんな話を聞きながら、同時にボクは、自宅の庭にあった山桜や、裏山の寺の桜並木を思い出していた。

ロンドンのアパートの桜は、はからずも、遠い外国の地で、そんな故郷の記憶を呼び起こしてくれる楽しい体験をさせてくれたのだった。

(彫刻家)

むらかみ・たもつ モダンアート協会会員。一九五〇年、大洲市生まれ。東京都杉並区在住。東京芸芸大学卒。モダンアート展(新人賞・部門賞・協会賞)。新潟市野外彫刻大賞展。KAJIMA彫刻コンクール作品展(銀賞)。個展ほか。山形・蔵王高原、三重・尾鷲市、東京・神田などに彫刻作品設置。文化庁派遣芸術家として一年間英国・ロンドン滞在。昨春秋、英国で彫刻個展開催。

アパートの桜

村上 保

Tamotsu Murakami